

卒業生による進路体験講話を実施しました。

令和7年2月18日（火）5・6時間目に、1年生・2年生、合計約300名、保護者約15名が参加して、卒業生による進路体験講話を実施しました。

この取り組みは、卒業生から進路実現に向けた在学時の努力のようす、卒業後の活動や職場での活躍のようすなどの話を聞いて、生徒が進路実現に向けた取り組みの参考とすることを目的にして、進進路指導部と1学年・2学年PTAが主催して、毎年2月中旬頃に実施しています。

今年度は、卒業生5名（国立大学、私立大学2名、公務員、企業）に、1人15分程度、話をさせていただきました。生徒はメモを取りながら熱心に話を聞きました。

各卒業生の講話後に質疑応答があり、生徒から「受験勉強のモチベーションを維持した方法は」「大学生活で一番楽しいことは」「公務員を希望しているが、どのような勉強をしたか」「就職を考えているが、2年生の今頃は何をしていたか」などの質問がありました。

最後に、2年生の幸田千輝さんが「進路実現に向けてアドバイスをありがとうございました。一人一人が高校生活を大切に過ごして、今日の話をそれぞれの進路決定に生かしたいと思います」と謝辞を述べました。

放課後に、希望する生徒が、卒業生に質問して、個別にアドバイスをいただきました。

～卒業生からの主なアドバイス～

【大学生】

「高校時代に授業を大切にして、しっかりと勉強しておくことが大切」「英検2級を早めに取得するとよい」「第1志望だけでなく、第2志望のオープンキャンパスにも行って、大学のようすを見ておく」とよい」など

【公務員】

「窓口に相談に来た方に『こんにちは。今日はどうされましたか』と自分からあいさつをして、相談者の気持ちが和むよう意識している。社会に出て、あいさつの大切さを実感している。高校の時からしっかりとあいさつができるようにしておく」とよい。また、先輩や後輩とコミュニケーションがとれることも大切である」など

【企業】

「仕事に必要な資格取得の勉強で苦労している。高校でいろいろな資格を取得するとよい。仕事で必要な資格取得を目指す時に、高校時代の勉強方法が役に立つと思う」「漢字の読み書きで、恥ずかしい思いをしたことがある。毎日の授業を大切にして、基礎的な学力をしっかりと身に付けておくことが大切である」など

